



第190号
 発行所 上高井教育会
 発行人 上高井教育会長 市川武彦
 編集人 市川武彦 委員 長子 斎藤 章 須坂 新聞社
 印刷所 須坂新聞社

教育の転換期に立った自覚を

上高井教育会長 市川武彦 先生

意識の変革
 二十一世紀が国際化、高度情報化、環境問題の深刻化、高齢化と少子化の進む変化の激しい中でスタートしました。教育の分野では国民的課題の教育改革として、規制緩和と地方分権の中で、個性化、多様化、自由化の方向に、目に見えない形で進みつつあります。そして学校評議員制度も取り入れられ、開かれた学校、特色ある学校を目指す中で、教育改革関連6法が成立して教育は今、大きな転換期を迎えています。

これからの子ども達に目を向けたとき、知識や技術の習得に力を注いできたこれまでの教育から子ども達が自ら考え、社会の変化に主体的に対応出来る資質や能力が重視される教育へと、変えていかねばなりません。そのために、教師の意識の変革が求められているのです。私たちの頭の中にある教育

観、知識や学習、学習能力の捉え方などは新しい教育課程の内容に対応させて、どのような教育内容と指導方法があるのかを、主体的に研究し、理解することが大切となります。学習論や指導のあり方、子どもの理解、評価のあり方などについても、内面性を重視し知的好奇心や効力感、社会的相互性を大切に、共感的理解や良さ、可能性を重視する立場への転換が求められています。

主体的な研鑽
 上高井教育会では全員参加の研究委員会を持っています。その中で、研鑽の場があります。しかし、共同で研究を深めるためには、個人の力量、実践がしっかりと行わなければならない。各種研究会や研修に意欲的に参加して学び、一人一人が力量を高めてほしいと思います。また、日々の授業でも工夫し、新しい実践を試みてほしいと思います。研究会では、お互いが多様な自分の考えや意見を出しあい、切磋琢磨しあってこそ、共同研究になりうると思います。

人が力量を高めてほしいと思います。また、日々の授業でも工夫し、新しい実践を試みてほしいと思います。研究会では、お互いが多様な自分の考えや意見を出しあい、切磋琢磨しあってこそ、共同研究になりうると思います。同好会にも進んで参加して専門性も大いに高めてください。今年は八月三日を中心と同好会を集中開催して、横のつながり、人との関わりを深めて上高井のミニ夏期大学を志向して行きたいと願っています。これからの教師は知と徳、人格的権威を求め、自らに生涯教育を課し、更に向上を求め続けていきたいと思います。学問は日々に進歩するものですから、それに向かって謙虚に研鑽して資質向上を目指すことは欠かせません。それが信頼の礎にもなるのです。

との信頼関係の上に成り立つものです。そして、子どもに信頼され、尊敬された先生にのみ子どもは学ぶ意欲を燃やし、頭や心を働かせ染み込ませると言われます。その中で、一時間一時間の授業を大切に、基礎基本を重視してわかる授業を展開すれば、子どもにも楽しい授業となり学力がつくのではないのでしょうか。同僚間で授業を見せ合ったり、TTを組んだりしてお互いの良さを学び合ったりコツを教え合うことも必要ではないでしょうか。着実な教室での実践で新しい教育への転換が図れるのです。

子どもを学力の面だけでなく生活行動や情意的側面など広い視野で捉えていく目と観察力、判断力などをもって良さや可能性を支援することで子どもは心を開いてくれます。研修を積んで識見や人柄にすぐれた信頼を得た教師、学校であれば、今日の憂慮すべき教育の荒廃や教育上の問題や事件などもかなり解決できるのではないのでしょうか。

- 地域の結集**
 地域に一層開かれた学校をめざして学校評議員制度が導入されましたが、これはまた学校が地域から評価を受けることです。全ての先生が、特色ある学校経営に参画しているという自覚が強く求められます。この意識が薄いと具体的な教育実践と自己評価を保護者や地域の方々に適切に説明していきません。そうなる地域での支援を戴いたり、学社連携の教育が困難になります。子どもたちが自ら考え、社会の変化に主体的に対応できる資質や能力を重視して子ども一人一人が生きる授業を実践することは教師道の不易な部分であり、社会の期待でもあります。
- 時代の変化を見つめながら「教師一人一人が自らの教師性を問い直す姿勢」が信州教育の伝統であり、上高井教育も「不易流行」で象徴されますように、この良さを堅持してきました。教育の大きな転換期の今、自らの教師性を問い直すと共に職能向上に向けて叡知を集し、新しい世紀を一步一步着実に歩んでいくではありませんか。
- 教育会だより**
- 4・2 選挙公示(役員選挙)
 - 4・3 第1回代議員会 第2回選挙管理委員会
 - 4・4 理事長選挙 第3回選挙管理委員会
 - 4・4 第2回代議員会 第4回選挙管理委員会
 - 4・6 副理事長・理事・信教常任委員 信教代議員選挙
 - 4・9 第5回選挙管理委員会
 - 4・13 第1回常任委員会
 - 4・18 教育会会計監査会
 - 4・19 教育研究会三団体代表者会
 - 4・24 第3回代議員会 初任者会員歓迎会(初任者会員5名)
 - 5・1 監事選挙 第6回選挙管理委員会
 - 5・2 研究総委員会(於須坂小学校) 同好会発足
 - 5・10 同好会世話係・会長会
 - 5・19 第2回常任委員会
 - 6・6 第1回研究委員会世話係・委員長会
 - 6・7 第1回研究小委員会
 - 6・9 第15回信教定期総集会(於真田中) 本会から31名出席
 - 6・19 第2回同好会
 - 6・26 第4回代議員会
 - 7・10 第3回同好会
 - 7・13 谷川先生ご指導 社会科委員会(於墨坂中学校)
 - 7・24 上高井教育会報第190号発行

学力向上のために学ぶ喜びの味わえる授業を

研究委員会会長 成田 茂

豊かな人間性・自ら学び自ら考える力などの「生きる力」を育むことをねらいとした新教育課程が来年度完全実施されます。

長野県では大学進学率に係わって学力問題が論議され、新教育課程の各教科の内容が削減されることによって学力の低下が心配されています。

昨年の十二月に、国際教育到達度評価学会の平成十一年度の調査結果が新聞で報道されました。それによると、我が国の中学生の数学・理科の学力は順位は下がってきているが依然として世界でトップクラスだが、数・理の好きな生徒は際立って少なく、調査参加三八カ国中最低レベルであるといっています。

この調査結果から、学力はトップレベルではあるが、東アジアの国や地域の中では低く安心できる状況ではなく、子どもたちは分かることの楽しさよりも早く解答にたどりつくテクニックを身につけようとしているからだと指摘されています。確かに、測定学力の向上をはかることも重要であります。学力は測定学力のみではなく、潜在学力や日標準学力もあることを谷川先生もお話されています。教科嫌が多いといふことは、毎日の授業において学び分かる喜びを味わうことなく進められている結果ではないだろうか心配しています。教科の好きな子どもとの割合を

学級の中で10%上げるには、四人をターゲットにすればよいと言われている。四人位なら何とかなるのではないかと思われぬ数字です。先生方の授業への更なる充実をはかるための努力を期待します。

研究委員会では、先生方が毎日の授業の中から課題を見出し、そこに生ずる基本的・本質的な問題を授業を通して究明することによって、職能向上に努め、上高井教育の充実発展を願っています。そこで今年度は、「自ら課題をもつて追究し学ぶ喜びを味わえる授業」をテーマに掲げ、最終年次を迎えます。各委員会ではこのことを念頭において進めていただければと思います。

研究内容として
(1)基礎的・基本的な内容を具体的に決めだし、ゆとりのある教育課程を編成し、主体的に学ぶ喜びをもてる授業
(2)子どもの実態をみとり、活動・つけたい力・評価の視点を明確にした教材研究と子ども自らが課題を持ち追究できる授業の実践
の二点を上げ、学力向上のための授業改善をはかった研究を進めていただきたいと願っています。
独自の委員会テーマや課題を設定し、委員会の主体性を生かし、その課題を究明するために既に、事前授業等を行い、学ぶ喜びを味わえるための

授業改善をはかり、学力向上のために取り組んでいる委員会もあります。
また、研究委員会に10年間中心講師としてご指導いただいた谷川彰英先生には、新教育課程が実施されることや先生のお考えもありまして、今年度末で区切りをつける予定で進めております。

研究企画委員会では、谷川先生にご指導いただいた内容や成果をまとめ、各研究委員会の世話係や委員長、先生方から課題や意見を集約し、検討して来年度の研究テーマや研究の方向性等を定めて行く予定です。先生方も日頃の実践の中からお気づきのことやお考え等ありましたら、遠慮なく研究企画委員会に申し出ていただければ、より充実したものになります。(高山小)

平成13年度 県外視察者 上高井教育会 (敬称略)

学校名	氏名	視察目的	視察方面	視察時期
墨坂中	飯泉 大輔	同和教育を中心にすえた総合的な学習の授業参観	大阪 堺中	6月
須坂小	山岸 俊樹	子ども達が生き生きと取り組む授業展開の参観と研修	東京方面	7月~8月
栗が丘小	奥原 京一	教科指導の先進校の研究内容と学習指導の参観研修	関東方面	10月
小布施中	小林 巧	中学校での日課表と年間行事の取り方の調査・研修	東京都王子	8月
小山小	近藤 勇人	先進校の体育指導と施設活用についての参観と研修	横浜市	10月
小山小	祐津 賢司	同和教育の推進と現状について参観と研修	近畿地方	7月
仁礼小	田原 克彦	総合的な学習の実践校の授業参観・研修	未定	2学期
仁礼小	宮崎美代子	個と歩む授業実践校の授業参観と研究会参加	富山県	5月
小山小	新山亜希子	読書センターとしての図書館の望ましいあり方	愛知県	8月
高山中	渋谷 和子	技術家庭科の研究と実践をする先進校の視察研修	関東方面	10月~11月
高山中	山崎 茂	日本の地理単元の展開と指導についての参観・研修	関東方面	1学期
相森中	楠 直樹	生きる力を育てる総合的な学習指導の先進校参観	中京か関東	1~2学期
井上小	市村 裕子	合唱と管楽器を取り入れた合奏指導のあり方	東京方面	2学期
高甫小	酒井 啓喜	総合的な学習を実践している先進校の参観・研修	関東方面	10月
東 中	北村 雅	学校に基礎を置くカリキュラム開発の具体と手順	東北方面	6月~7月
東 中	笠原 富夫	新指導要領における社会科の指導法の研究と参観	千葉県	9月
日野小	北澤 英和	社会科の実践校を視察して学習指導のあり方の研究	富山県	2学期
森上小	花形 敏郎	理科学習指導の先進校の取り組み視察と授業参観	関東方面	2学期
森上小	伊賀 雅志	理科学習の実践校の授業展開と指導力の参観・研修	関東方面	2学期
高山小	遠藤 和樹	総合的な学習指導の先進校の授業参観・研修	東京都	7月
高山小	三井 陽介	総合的な学習指導の実践校の指導計画と授業参観	埼玉県	11月
須坂小	中城 裕子	総合的な学習と理科との関連について学校参観研修	関東方面	11月~12月
日野小	大工原雅将	算数・数学の授業展開の構想について先進校視察	新潟県	11月
小布施中	小川 広幸	理科の教科指導の先進校の視察と授業参観	関東方面	10月

本校の中核活動

本校自慢の活動

高甫小学校

我が校の第一の自慢といえは、「全校登山」である。「みせるこの意気 全校登山」と校歌にも歌われ、永年続けられてきている。五月の第二土曜日、一・二年生は竹の城址、三・四年生は大洞山、五・六年生は明徳山へ登る。

以前は、校内だけで行われていたが、四年程前からはPTAや地域全体に呼びかけ、また昨年からはPTAと共催行事として行われ、下見や整備から当日の運営までPTA

の活躍がこの行事を支えている。今年度は、児童二百二十人のほかに家族や地域の皆さん二百余名が、給の交換をしたり会話をしながらふるさとの山に汗を流した。それぞれのコースでインストラクターや地元の方に植物の名前や笛の作り方、草木の遊び方を教えてもらったり、オカリナの音色を頂上で楽しんだりした。毎日

地域は、広くすばらしく、ふるさとの山の大きさを肌で感じる事ができた。

今年度は迎えた早い時期の全校登山は、それぞれの学級の総合的な活動の土台ともなっている。鮎川探検や史跡探訪等を中心とした地域探検活動や全校登山に参加された地域内施設の方たちとの交流活動などへと広がっている。

第二の自慢は、「高甫まつり」である。児童会主催の行事で年二回計画され、前期は六月に行われた。各委員会でコーナーを設け、全校でスタンプラリー形式で行われた。

一日授業参観日でもあったこの日は、お父さんやお母さん方の姿も見られ、いっしょにゲームやクイズを楽しんでいた

だけだ。

子どもたちが考えて計画し、準備し、実行しているこの活動は、主体的な子どもを育成する絶好の機会といえる。子どもたちが自信を持って、活動を進めている様子を見ることができた。また、学年を越えた縦のつながりが自然とできているのもこの時である。

全校を縦割りにして作る「あゆ川グループ」も、この行事の前後に組織され、学年の枠をこえたふれあいの姿があらわれている。全校がこの日の来るのを楽しみにしている。

(伊藤悦子)



教職の専門性

同好会々々 月岡 利久

本年度の同好会は、二百二十三名の先生方の参加により十五の分野をもって発足しました。先輩方から引き継がれた伝統と歴史ある同好会が、多数の先生方の参加で発足したことを嬉しく思います。

各同好会では、夏休み中に会員以外の参加も呼びかけ、先生方に研修の場を広げる計画もしております。多数の先生方の参加を期待しております。

さて、同好会の目的である会員の資質の向上について、自分自身を振り返りながら、教員としての資質向上と研究や研修について考えてみたいと思います。

- (1) 教職の専門性の条件は、教育の本質や原理について深い理解を持つこと、
- (2) 児童生徒の発達についての理解と知識を持つこと、
- (3) 教科に関する専門的な学力を身に付けていること、
- (4) 優れた指導技術を持つこと、

- (5) 広い一般教養と豊かな人間性を有すること、
- (6) 研究と修養により要請される資質や能力を維持向上させること、
- (7) 強い自主性、自立性に支えられた考え方や行動がなされること、
- (8) 深い教育的愛情、教育者としての使命感、児童・生徒及び社会への強い責任感と奉仕の概念を有すること、と述べられています。

それは、「人間を育てる」という、もつとも高度な知的で精神的な創造活動に直接携わる私達に対して、すぐれた専門性が求められているのであります。

さて、その専門性を高めるためには、研究と研修が先ず第一に取り上げられることであると思えます。私達が多忙な

勤務の中で成果を上げていくには、校内の研修の盛り上がり、何においても配慮されなければならぬと思えますが、各校においても、教科会や学年会等、毎日の授業の素材や教材及び指導法の研修がなされてい、日々の授業に追いついて、教科に関する専門的な研修を十分せず、教科書の内容の意義も十分理解しないで、単に教科書の内容を理解させようと、教壇に立っていたことが多く、今にして思えば、とても恥ずかしく思っています。

また、生徒指導においても、表面的な事の解決に追われ、子供の心情や心理を理解しないで接していた事が多かったのではないかと。

この同好会が、会員の専門性を更に向上させる会になることを願います。(栗ガ丘小)

文学同好会

宮坂ゆかり

昨年度、何とも気軽に同好会々々長をお受けし、その浅はかさ故に「文学同好会 空白の一年」を作ってしまった。この深い反省をもとに、今年度は同好会発足の日に会員の皆様のご協力により年間計画を立案することができた。

今年度の「文学同好会」の裏テーマは「日々の実践に資する」である。

前半期は「高井の民話」を読み合わせ、夏の文学散歩では本書をまとめられた羽生田敏先生(黒姫話館々長)に教えていただきながら、民話の地を巡る予定である。後半

期は、今までに『万葉集』『古今和歌集』『新古今和歌集』と継続して教えていただいている滝沢貞夫先生(元信大教育学部教授)に、先生が監修された信濃古典ものがたり叢書をテキストに教えていただくという計画している。(皆さんは「東海道中膝栗毛」の弥次さん・喜多さんが、須坂の地を旅していることを御存知だろうか)

さて、かつての上高井「文学同好会」といえば、それはそれは文学の香り高い集いだったよ。今年度豊洲小学校長に着任された斉藤章子先生

が、セラー姿の女子高生だった頃は、中央から大学の先生をお招きし純文学について講演会を開いたりしたらしい。その頃の「文化」は「学校」と共にあり、学校は文明の先端をいき、教師は文化の担い手だった。が、時代は移った。今では学校や教師は、時代に遅れてくる場や人になった。(だから価値がある、という面のある。)ちなみに市民向けの教養講座や読書会が開かれ、いつもどこかで有名な誰かの講演会が催されている。自分たちが工夫しなくても文学の香りをかぐ機会はいくらでも転がっている時勢だ。そのような状況の中にあつて「文学同好会」の性格は教職員の集いであるという面を強くせざるをえないように思う。

一時、日々の仕事や瑣事か

ら離れて文学の世界に心遊ばせることは、とても楽しい。教科書とは関係ない国語をこんなに好きだったかと改めて気付く。目の前の子どもたちに自己表現させようとして窮々としている自分が、ただ真正直に文に對し自己を解放する気持ち良さがある。

しかし、実のところ同好会の時間枠では、その境地に到るに多少の無理がある。大抵は、今日中に片付けなければならぬ仕事の亡霊に取りつかれてはいるからだ。そこで、今年度は「実践に資する」と教師根性を慰める裏テーマを設定したというわけだ。そしてできれば、ふっと忘れてしまいうる文学大好き!の気持ちで魅了すきつけにしなければいけない思いである。(高甫小)

本校の宝 ③④

音の殿堂

高山中学校

本校には大切にしている書や絵画・碑がない訳ではありませんが、今回は「音楽室」を紹介いたします。

音楽室は、平成十年十月に総工費一億八千万円をかけて完成をみた。村の情操教育への熱意・期待の溢れるものだった。



二つの音楽室の他に四つのレッスン室があり、合唱のパート練習や楽器別の練習等もでき、個やグループの集中した練習ができるようになってい。おまけに冷暖房付きでいたれりつくせりの感がある。

吹奏楽の楽器への村の配慮もあり、本年度で編成全楽器が公費で揃うこととなる。増々吹奏楽への期待も膨らんでいる。

忘れてならないものとして旧音楽室がある。この音楽室は、昭和三十九年九月二十七日に、越三郎氏の寄贈により竣工した。



この音楽室の特色は、何と云っても「音」を追究することに主眼が置かれていること。勇壮な「高山太鼓」の響きさえ外に漏れない。勿論、歌声がどんなに大きくても外の妨げになることのない防音になっている。(二音)

さらに一音には調整卓が設置され、種々の音のプログラムができる。録音・再生を含め、マイクで指示もできる。音の残響までとらえられるよう設計されている。楽器の音色や合唱のハーモニー等響きの細かい部分まで精度が譲り出される。

本校の歴史をみれる唯一の建物として、当時果たした役割の面影を現在とどめている。膨大な予算をかけて創っていただいた建物や設備等に想いを馳せ、さらにこれから、どう生徒に活用させ、指導を工夫し、音の追究を進めていくかは私達の大きな課題でもある。(鈴木絃一)

火ばら談義



豊洲小 きたがいと

アメリカの先生から学んだこと

太田美恵子

一年ほど前になるが、米日財団主催の「現代アメリカ研究」に参加させていただく機会があった。二週間足らずの研究だったが、来年二月に冬季オリンピックが開かれるソレトレックシティーとサンフランシスコを訪問した。両市では公立学校を参観させていた。日本の小学校と比べていろいろな面で違っていることに驚いた。最初に訪問したソレトレックシティーは禁酒禁煙の街で有名だが、砂漠の中にある都市とは思えない程緑豊かで美しい街だった。小学校に到着したのは朝八時前。大きな黄色いスクールバスや乗用車で次々に登校してくる子供たち。目でいろいろな国の子供たちが通学していることが分かる。スパニッシュ系、アフリカ系、チャイニーズ系、ロシア系と様々である。よく聞いていると、子供たちの話す言葉も英語だけではなく。教頭先生にお聞きすると校内では、常時十数か国語が話されているという。そのため、バイリンガルクラスがあったり、英語が話せない保護者向けのサポートシステムがあったりする。教室に入ると二十人の児童に対して、先生が五、六人もいてビックリ。後で聞いてみると、担任の先生

自転車クラブを指導して

大澤博光

六年前、森上小にお世話になって早々、出会ったのが自転車大会というものでした。初めの年は自転車大会がどういうものかも知らず、何となく出場したように思います。結果は団体が10何番かで、個人も20番までに一人も入らないくらいだったと記憶しています。

森上小はその頃、陸上、合唱と金管の3つのクラブがあり、若い先生の情熱が特に陸上クラブに注がれていました。新参者の私に、「先生、自転車

練習に時間をかけること、そして技能のコースを成功させるにはそれなりのコツがあることなどがわかってきました。幸い、かつて県大会に自分が出場した経験のあるT先生がいたので、模範走行を見せられたり、タイヤがどういう軌跡で進めばピンを倒さずにクリアできるかなど、直接教わることができたので、練習の中で技能のポイント、コツをつかむことができました。

T先生を県大会まで連れていかれたY先生も森上にはいらっしやいました。Y先生と共に森上最後の年、県大会出場を果たしました。Y先生は保護者の物心両面のバックアップが昔はあったがなあと保護者の無関心、非協力を



(日野小)

いろいろあつて旅

本山久美子

乗り換え時間七分、しっかりと走ろうと言いつつ合った相棒が後ろを振り返っても見えない。どうしちゃったのよ。どうしてついで来れないの。と思つたが、無理もない。私はゴミ袋大のショルダーバッグ、相棒は一周間のスーツケースに辞書などが入って私の荷物の倍は重い。しのばず口から京成上野駅へ向かう人通りの多い坂道のこと、厚手のコートがさらすれ違いを難しくしていた。不満ながらも相手を待った。

「男の人のサンダル、スーツケースでぬがしちゃんだよ。こんなハードな旅行には、ついていけない。」赤い顔を見て、私は青くなった。

この乗り換えは最初から無理なこだった。間に合えばラックキー位に思っていたのは私だけ。もうアメリカに行けないと相手は思った。この時から私は相手(姉)の「帰る」の言葉におびえながら旅行することになった。

カラマズー、シカゴ、ニューヨーク9日間はハブニングの連続であった。カラマズーからシカゴへの飛行機、タクシーを予約して乗り付けたのに、着席して外を見てみると、片側のプロペラしか動いていない。「ねえ、片方ずつ動かしてチェックするのかなあ。」とのん気なことを言っていたらアナウンス、話を聞き取れなくても乗客の動きで飛行機が動くのを見て、私は

編集後記

た。最後にはホテルの人が声をかけてくれた。いろいろあった。それだけに思いついた。出深い旅行になった。(日滝小)

一学期も残りわずかになり夏本番を感じさせる季節になりました。お忙しい中、原稿をお寄せいただきました先生方本当にありがとうございます。本年度は、次のメンバーで会誌、会報をお届け致します。

- 委員長 齊藤 章子(豊洲小)
- 副委員長 小林 康一(森上小)
- 委員 田原 克彦(仁礼小)
- 返町 輝雄(高山小)
- 新山亜希子(小山小)
- 中村 竜太(森上小)
- 宮崎 玲子(豊丘小)
- 相川由紀子(相森中)
- 山崎 祐子(常盤中)
- 島田 浩幸(墨坂中)